

酸京★ニュースレター

2022年5月号

季節折々の 特殊効果演出

このニュースレターの「メール版」はご覧いただけましたか？
本号の内容は2022年4月19日(火) 7:50に配信しております。
メール版が届いていない場合、こちらからご登録いただくか、
迷惑メールボックスをご確認ください。



メール版のご登録は
こちらから

ただいま環境整備中

代表取締役 小峰 聖

来期に向けての経営計画を策定するため、経営計画合宿に参加しました。

経営計画とは会社の未来を創るもの。前回は業績や人員の目標を数値化することができましたが、未来に向かう方針を明確にすることが課題でした。

今回は課題改善に取り組み、当社が理想とする「社員全員と共有できる計画書」に一歩近づけることができました。発表を予定している6月までに、さらなる磨きに努めます。



アンケートのお願い

- Q：季節による特殊効果演出の記事はいかがでしたか？
- Q：バックナンバーページについてのご意見ご感想は？
- Q：試してみたい特殊効果演出は？

お答えと共に、ご質問やご要望など、お待ちしております。

アンケートはこちら→

ご回答：5月10日(火)まで
受け付けます



特殊効果演出についてよくいただく質問

Q スモーク演出は年間を通じ舞台やイベントに欠かせないですが、季節による違いや注意すべき点がありますか？

A はい。とくに夏と冬では、スモーク（煙）の見え方に違いがあります。

例えば、炭酸ガス（CO₂）を噴射させる特殊効果演出の場合、夏場に比べ、11月～4月の期間はスモークの勢いや濃さが小さく薄くなります。原因は空気の乾燥です。気象庁の定義では、相対湿度50%未満の状態を「乾燥した空気」としています。そもそも炭酸ガスを噴射すると白い煙が出るのは、放出された炭酸ガスが酸化し、空気中の水蒸気が冷やされ凝縮し霧ようになるからです。ですから、空気中の水蒸気量が少ない乾燥した時期はそれだけ、白い煙の量も少なくなります（画像ご参照）

そうすると、例えば「加湿器を使えば煙が濃くできるのでは？」と思う方もいるかもしれません。しかし、大きな会場や舞台で加湿器を使用しても、自然現象である乾燥には太刀打ちできない、というのが現実です。

対策として、乾燥する時期は炭酸ガスの噴射装置を増やすことがあります。

注意点としては、高圧ガスポンペは重たく、噴出されるガスは低温（マイナス79℃）のため、搬入搬出などお取り扱いには**慎重に**。展示会などでの演出では、あらかじめ会場に確認した上で使用されることをお勧めします。

CO₂、高圧ガスポンペの取り扱いなど、詳細についてはお気軽にお尋ねください。



バックナンバーはご覧いただけましたか？

弊社ホームページからニュースレターの過去記事をご覧いただけるようになりました。

創刊号から先月号までの掲載をアップデート。閲覧およびダウンロードが可能となりますので、ぜひチェックしてみてください。

とくに、「特殊効果演出についてよくいただく質問」コーナーは「役に立った」と、毎回ご好評いただいています。

あなたの周りで特殊効果演出にご興味ある方、本誌をおススメしたい方がありましたら、ぜひ以下のリンクをご紹介ください。

今後は最新情報を中心に、さらなる誌面の充実に努めていきます。

バックナンバーはこちらから →→→

<https://sankyocloud.co.jp/backnumber>



発行: 有限会社 酸京クラウド

SPECIAL EFFECTS SANKYO CLOUD

〒143-0013 東京都大田区大森南3-19-12 酸京ビル
TEL: 03-3745-3773 10:00 - 18:00 (Mon to Fri)
FAX: 03-3745-4133 24hrs
E-mail: info@sankyocloud.co.jp

ニュースレターの
配信・配送の停止を
ご希望の場合はこちら

